

木津川市

第17号

議会だより



議長挨拶	2	常任委員会	7～9
臨時会	3	清掃センター建設特別委員会	9
組合議会報告	3	代表質問	10～14
本会議	4・5	議会報告会のお知らせ	15
補正予算特別委員会	6	一般質問	15～23
		わたしの意見	24

元気いっぱい

(木津保育園)



日々暑さ厳しき折、皆様方におかれましては、お元気で過ごすごしのこととお慶び申し上げます。

議会だより第17号 の発行にあたって

議長 尾崎 輝雄



平素は、議会活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。木津川市議会だよりは、平成19年8月創刊以来、本紙で第17号の発行となりました。

特に、本号は、4月の議員改選を経て、5月12日の臨時会において、各役職や委員会構成が一新され、新体制がスタートした記念すべき「議会だより」です。

限られた紙面のため、5月臨時会・6月定例会のすべての審議内容を掲載することはできませんが、議会基本条例のもと、皆さんに議会活動が十分見えるように、積極的な情報発信と説明責任に努めます。

ご家庭・職場で、より一層ご愛続いただけよう、広報編集委員会を中心に、全議員が一致協力して取り組んでまいりますのでご意見を寄せていただくことをお願いし、発行者のごあいさつとします。

議会三役

議長 尾崎 輝雄
副議長 炭本 範子
監査委員 高味 孝之

総務文教常任委員会 (8人)

厚生常任委員会 (7人)

産業建設常任委員会 (8人)

清掃センター建設特別委員会 (12人)

委員会

議会運営委員会(7人)

委員長 中野 重高

副委員長 高味 孝之

委員 倉 克伊

西岡 政治

島野 均

酒井 弘一

吉元 善宏

(委員氏名は委員会報告の中で掲載)

会派

〈さくら会〉

幹事 倉 克伊

高岡 伸行

山本 和延

伊藤紀味 枝

吉元 善宏

尾崎 輝雄

〈民主改革クラブ〉

幹事 西岡 政治

河口 靖子

炭本 範子

七条 孝之

中野 重高

〈きつがわ未来クラブ〉

幹事 高味 孝之

兎本 尚之

長岡 一夫

西岡 努

島野 均

柴田はすみ

酒井 弘一

西山幸千子

〈会派に属さない議員〉

呉羽 真弓

曾我千代子

深山 國男

谷川 光男

片岡 廣

臨時会

一般会計に繰り入れた 基金の大半を戻す

5月12・13日、臨時会を開会。発議1件、同意6件、承認9件を審議した。4月の改選を経て、議長・副議長の選挙、監査委員・常任委員などの選任を行ない、すべての案件を、可決・同意・承認した。

出産一時金の改正

35万円を39万円に増額する国保条例の改正。

Q 国の補助金が減額する中、負担増になると考えられる。市としての対策は。

A 保健福祉部長 国に補助金の継続を求めていくとともに、地方負担増にならないよう要望を行なっていく。

全員賛成で承認

限度額の引き上げ

賦課限度額を最高4万円引き上げる国保税の改正。

補正予算を審議

歳入歳出予算の総額から5億5141万円を減額し235億454万円とするもの。

Q 公債費、学研都市京都土地開発公社利子の576万円の減額の内容は。
A 総務部長 公社の利子が2%から1・4%に下がったため。

Q 木津南中学校の学校備品購入費の740万円の減額の内容は。
A 教育部長 開校のため備品として購入。入札の結果差額が出た。

Q 全国的にも保護世帯が増えていくと聞かすが、生活保護費支給事業費の2837万円の減額はなぜか。
A 保健福祉部長 23年3月末現在、

賛成多数で承認
(賛成19人・反対4人)

討論

反対討論

最高限度額の引き上げは、市の独自判断もなく国に追随したもので。前回の3月議会での答弁にも反しており、市民の納得は到底得られない。

酒井 弘一



新しく開校した木津南中学校

組合議 会報告

相楽中部消防組合

6月1日臨時会開会。

議長に竹内きみ代(和束町)、副議長に尾崎輝雄、消防賞じゅつ金等審査委員補充議員に竹内きみ代・尾崎輝雄、表彰審査委員補充議員に炭本範子・深山國男を選任。

消防ポンプ自動車の取得の件は、全員賛成で可決した。

相楽郡西部塵埃処理組合

5月30日臨時会開会。

議長に山本清悟(精華町)、副議長に高味孝之、監査委員に藤原義明氏・呉羽真弓、管理者に精華町長、副管理者に木津川市長を選任。

2年間にわたる炉の補修工事の契約案件の審議をおこなった。指名競争入札により、エスエヌ環境テクノロジー(株)が3億9万円で落札。全員賛成で可決した。

相楽郡広域事務組合

5月30日臨時会開会。

議長に尾崎輝雄、副議長に杉浦正省(精華町)が選任。議会運営委員長に西岡努、副委員長に佐々木雅彦(精華町)を選出した。

監査委員に北猛(南山城村)を選任した。

加茂笠置組合

5月24日臨時会開会。

議長に片岡廣、副議長に和田榮雄(笠置町)、議会運営委員長に西岡良祐(笠置町)、副委員長に曾我千代子を選任した。

監査委員は、酒井弘一を選任した。

議 審 を 算 予 け

6月定例会

第2回定例会は、6月7日から28日までの22日間の会期で開催した。議案6件、同意3件を審議し、すべての案件を可決・同意した。

11億円の肉付け予算で

子や孫につなぐ予算スタート

23年度当初予算は、「骨格予算」として編成されたが、市長2期目の予算となった一般会計補正予算は、収入支出にそれぞれ11億2千万円を追加し、総額を248億2千万円とした。

主な収入は、史跡公有化事業費国庫補助金1億4850万円と新設小学校用地取得事業債2億5千9百万円である。

また、支出は地方議員年金制度の廃止による負担金8029万円、災害対策事業として広域避難所看板設置業務に245

万円、給水支援や罹災児童生徒援助などの被災地支援・罹災者支援として

1046万円、木津駅東地区整備事業1億5672万円、木津駅東地域の既設市道の拡幅・歩道のバリアフリー化などの道路改良事業に9639万円、恭仁宮跡・鹿背山瓦窯跡などの史跡等買上事業に1億8645万円、新設小学校用地購入事業に2億8786万円を計上した。

〈詳しくは6ページに〉

全員賛成で可決

新設小学校

用地を取得

木津中央地区の新設小学校用地の一部として大字鹿背山小字大木谷4番地1ほか12筆にて、1万4638㎡を学研都市京都土地開発公社から取得するもの。

譲渡契約額は2億8786万円（1㎡当り1万9千円）で、今後中央地区のまちびらきによる児童の増加に対応し開校を進めるもの。

全員賛成で可決



魅力あるまちづくりに向けて

改選後の肉付

放課後児童 クラブの入会 対象児童を拡大

放課後児童クラブの入会対象児童を市内の小学校に在学し、かつ、市内に住所を有する児童に拡大するもの。(同志社国際学院初等部が対象)

全員賛成で可決

都市計画マ ス タープランの 策定

本市の将来像とその実現のための課題に対応した整備方針を総合的に示し、都市計画に関する基本的な方向と実施にむけ「都市計画マスタープラン」を策定するもの。

全員賛成で可決

京都地方 税機構規約の 一部変更

京都地方税機構が処理する課税事務共同化に向けた準備が整ったことにより、税額の算定等の賦課事務を追加するための府および関係市町村と協議を行なうもの。

討 論

反対討論

22年4月より広域で実施している滞納事務に、課税を加えるもの。課税自主権は市町村の権限であり、個人情報保護の観点から、個人情報の広域での扱いと負担増を懸念。

呉羽 真弓

賛成多数で可決
(賛成19人・反対4人)

人事案件

副市長

田中 達男 (60歳)
相楽郡精華町

選挙管理委員会

・上原 精一郎
(木津川台)

・植村 繁
(木津町奈良道)

・木村 武平
(山城町綺田)

・塚本 皓三
(加茂町北船屋)

選挙管理委員補充員

第一順位

・福井 弘
(山城町上狛)

第二順位

・土井 正文
(兜台)

第三順位

・加田 征嘉
(木津殿城)

第四順位

・國光 みゆき
(南加茂台)

自治功労者決まる

自治功労者

・深山 國男
(南加茂台)

・梶田 和良
(加茂町兎並)

・高味 孝之
(木津町)

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載
賛成=○ 反対=×

議案名：京都地方税機構規約の一部変更について

議員名	会派名	
高山 岡	伸行	○
山本 和	延枝	○
伊藤 紀	和味	○
倉元 克	伊宏	○
吉元 善	宏子	○
河本 靖	子之	○
炭本 範	孝治	○
七条 孝	重高	○
西岡 政	尚之	○
中野 重	夫努	○
兔本 尚	一之	○
長岡 一	孝之	○
西岡 孝	均み	○
高野 孝	一子	×
島田 是	千真	×
柴田 幸	弓子	×
酒井 幸	千代	○
西山 千	國男	○
呉曾 山	光廣	○
深川 光		○
谷片 岡		○

※議長は採決に加わらない

さくら=さくら会

きづがわ=きづがわ未来クラブ

共産=日本共産党木津川市議員団

民主=民主改革クラブ

公明=公明党

無会派=会派に属さない議員

新設小学校用地費2億8786万円

補正予算特別委員会

6月17日に委員会を開会。一般会計予算に11億2845万円を追加し、248億2845万円とする内容。全員賛成で可決。

主 な 質 疑

Q 木津中央地区の新設小学校建設のスケジュールは。
A 教育総務課長 用地3万㎡の残り約2万3千㎡を24年度に購入予定。23年基本計画・基本設計・実施計画。24年建築確認申請。24・25年建設工事。26年4月開校予定。

Q 土地購入費6714万円の内訳は。
A 財政課長 加茂町大野ウヅの土地2702万円と州見台3丁目の土地4012万円である。

Q 観光振興費771万円の内容は。
A 観光商工課長 観光案内板を市内JR駅5カ所に設置。スマートフォンを利用し観光スポット案内のアプリケーションの開発費。

Q 鹿背山瓦窯跡の整備の方針は。
A 文化財保護室長 22年に国の史跡指定を受けた。22年から24年の3年間で買い上げを進め、その後整備する。

Q 椿井大塚山古墳史跡の事業計画は。
A 文化財保護室長 23年から26年で発掘調査。27年から29年で史跡整備に取り組む。

Q 者に分かりやすく、情報更新が容易にできるようにしたい。
A 人事秘書課長 水道の給水活動と保健師の派遣。3〜6月で計24人。

Q 国際交流員の役目は。外国から招致する理由は。
A 人事秘書課長 広報等の英訳と窓口での通訳イベントにも対応する。日本語が話せて、漢字の読み書きができる。
Q ホームページをリニューアルする目的は。
A 市長公室理事 利用の
Q 災害被災地支援事業の内容は。
A 木津駅東公共事業用地取得事業として債務負担行為が10年間、1億7

300万円となっている。もっと短期にするべき。
A 財政課長 目的も広く公共事業地として使えるように事業名・限度額・期間を再設定した。



開発が進む木津中央地区

委員長
副委員長
委員

伊藤紀味枝
西岡 政治
高岡 伸行
河口 靖子
柴田はすみ
倉 克伊

七条 孝之
酒井 弘一
深山 國男
谷川 光男
西岡 孝之
高味 孝之

補正予算の主な事業

恭仁宮跡・鹿背山瓦窯跡・高麗寺跡史跡指定地買上	1億8645万円
道路用地購入・改良事業（木津駅東地域）	9639万円
議員共済年金廃止に伴う負担金	8029万円
上粕東部農免道路用地購入	5273万円
幼稚園遊戯室などにエアコンを設置	1762万円
東日本大震災被災地支援	860万円
市ホームページのリニューアル	676万円
消防団運営（出動手当・備品購入など）	532万円
国際交流員の招致事業	458万円

(万円未満切り捨て)

罹災避難者に対する税の負担軽減

総務文教委員会

6月13日に委員会を開会し、議案3件を審査した。

全議案可決

税条例を改正

東日本大震災で罹災されて、市内に避難された方に対する税の負担軽減を図るもの。

Q 避難された3世帯が来られた経緯は。

A 1世帯は府からの紹介。

Q 周知の方法は。

A 今後、広報などで周知徹底していく。

全員賛成で可決

小学校用地を取得

木津中央地区の小学校用地として、学研都京都市土地開発公社所有の土地を買い戻すもの。

Q 先行取得はいつ頃でいくらか。また、その効果はあったのか。

A 平成10年3月16日まで経費も含め、総額3億2600万円。

今日まで経費も含め、総額3億2600万円。現行取引額と比べ、効果はあった。

全員賛成で可決

地方税機構に課税業務を追加

平成21年8月に発足した「京都地方税機構」の事務に、法人住民税等に係る課税事務の一部を加えるもの。

Q 法人の課税事務共同化のプラス面は。また、これ以上の拡大はあるか。

A 事務処理の一括化、人員の重点配置による増収効果、改正等のシステム改修費などの経費削減。当初、徴収業務から始めたが、システム化になじむ事務から共同化を進める。

Q 市の負担は。

A 試算では府が91・3%の負担率。市の負担額は約195万円。事務量が大幅に変わらない限り、率の変更はない。

討論

反対討論

納税の困難な人々に、非情を取り立てがある。今後の共同化の拡大に不安がある。

賛成多数で可決

委員長
副委員長
委員

倉 克伊
七条 孝之
河口 靖子
兎本 尚之
島野 真弓
深山 均
吉元 善宏



後列左から 兎本、深山、島野、吉元、河口
前列左から 七条、倉、尾崎

都市計画 マスタープランを 可決

産業建設委員会

6月16日に委員会を開会し、議案1件を審査した。

議案を可決

10年後のまちづくりを議論

市議会基本条例に基づき、議会の議決事項となったマスタープランを議論した。

Q 10年後の人口目標7万5千人は、低すぎる。人口減少を予想する地域があるのか。
A 将来人口目標は、10万人で設定している。人口見通しは、常に新しい

資料で推計している。木津中央地区もそれぞれの住宅の張り付きとは考えられない、との審議会の議論があった。

Q 減少地域への手立ては。
A 人口減少に伴う対応もあげている。

Q 中央地区の人口伸びは。
A 現在、推計中である。

府の計画に位置付けがあり必要な道路と考えている。
実現をめざし要望を続けている。

Q 「汚水処理構想」の表現在府の指示で、変わった事の説明を。
A 市の計画をすべてのせるということで、1日も早い水洗化を推進するために変更した。

Q 合併浄化槽も含めて水洗化100%とするということか。

A 公共下水道ですべて10年でやることは、困難。合併浄化槽を組み合わせてすることで、水洗浄化を図ることを基本。

全員賛成で可決

委員長
副委員長
委員

酒井 弘一
伊藤 紀味枝
山本 和延
曾我 千代子
西岡 政治
中野 重高
西岡 努
片岡 廣



後列左から 山本、曾我、西岡政、中野、西岡努
前列左から 片岡、伊藤、酒井、尾崎

児童放課後 健全育成事業を 拡大

厚生委員会

6月14日に委員会を開会し、議案1件を審査した。

議案を可決

委員長
副委員長
委員

長岡 一夫
柴田 はすみ
高岡 伸行
炭本 範子
西山 幸千子
谷川 光男
高味 孝之

市内の私立小学校（同志社国際学院）に在学し、市内に住所を有する児童に拡大するもの。

Q 市外の私立小学校に通学している児童について検討したのか。

A 条例改正の際に検討したが、今後の課題とする。

Q 小学校高学年の待機児童はどうするのか。

A 検討委員会で検討していく。

全員賛成で可決



後列左から 高味、炭本、西山、高岡、谷川
前列左から 柴田、長岡、尾崎

8月から生活環境影響調査

清掃センター建設特別委員会

6月21日、委員会を開会し、新クリーンセンター建設の取り組み状況の説明を受け、質疑を行った。

A 地元の区長とは話し合った。今後、生活環境影響調査についても、中間報告し、意見を聞く機会を持ちたい。

A 技術的に判断し、検討する。

Q 生活環境影響調査の目的は何か。今後の地元の説明は。

A 周辺に及ぼす影響を調べるものであり、地元には誠意をもって対応する。

Q 調査期間は。

A 8月から来年7月まで行う。

Q 調査時は、地元の方も参加しては。

A 業者の選定はまだなので、可能であれば地元の方に入ってもらおう。

Q 地元に対して十分な説明ができたのか。

Q プロジェクトチームは今、兼務であるが、それでいいのか。

A 今後、兼務を解消したい。

Q 生活環境影響調査計画書に対する意見書が出た場合どうするのか。

委員長
副委員長
委員

島野 均
西岡 政治
山本 和延
炭本 範子
兎本 尚之
西山 幸千子
呉羽 真弓
曾我 千代子
長岡 一夫
吉元 善宏
中野 重高
片岡 廣



エコライフ紀北を視察

幹事

倉 克伊

高岡 伸行

山本 和延

伊藤紀味枝

吉元 善宏

尾崎 輝雄

Q 市の基本姿勢と判断基準は

A 一党一派に偏らず



吉元 善宏

(質問) 河井市長は2期目の市政を無投票で担うこととなった。1期目の河井市政を2期目も継続

していること、無投票で市長の再選を望んだ市民の民意があると考え。そこで、市民が望んでいる河井市政の継続の中でも、基本となる次の項目について質問する。

「クリーンで誠実な心の通った市政の実現」を市の組織全体で実現する

ために、口利きの記録化と原則公開を制度化しては。また、現場第一主義を導入しては。

(市長) 外部からの働きかけ等の記録やその公開の制度化は、先進自治体の例を参考に、市としての取り組みを検討したい。現場第一主義の導入は、

現場の声を反映しつつ市政に生かしたい。

(質問) 市政の判断基準とした真意と決意は。

(市長) 市政を担って

くすべての判断基準は、「一党一派に偏らず、公平・公正に市民の皆様のためにどうすべきか」にあると考えている。

Q 安心・安全で魅力あるまちづくり

A 施設整備と医療費の拡充へ



倉 克伊

(質問) 保育園や放課後児童クラブの施設は、安全か。

は改修を行ったが、全体のニーズを考慮し、新設に向けて検討。児童クラブは、小学校の建設や改修に併せて協議。

は改修を行ったが、全体のニーズを考慮し、新設に向けて検討。児童クラブは、小学校の建設や改修に併せて協議。

治体を調査、早い段階での実施に向けて検討。休日診療は、来年度の実施に向けて広域事務組合で取り組んでいる。

(質問) 子供の医療費の負担軽減は。また、休日診療は。また、休日診療は。

(質問) 地域防災計画の見直しと、市民参加の総合防災訓練の実施は。

(市長) 防災計画の地

震・原子力災害などを見直す。



茶問屋ストリートを観光拠点に (山城町上粕)

本年、職員参加の訓練を行う。次年度以降、訓練実施に向け取り組む。

(質問) 茶問屋ストリートからきづまちを中心とした観光拠点の一つにしては。

(質問) 住宅改修と太陽光発電の助成は。

(市長) 耐震改修助成に加え、部分改修にも活用することが望ましい。環境に配慮し、他の自治体

(質問) 住宅改修と太陽光発電の助成は。

も参考に調査・検討する。

(市長) 耐震改修助成に加え、部分改修にも活用することが望ましい。環境に配慮し、他の自治体

も参考に調査・検討する。

(市長) 老朽化の保育園

(市長) 国・府や他の自

(市長) 防災計画の地

幹事

西岡 政治
河口 靖子
炭本 範子
七条 孝之
中野 重高

Q 3年間不在の整形外科医を早急に

A 粘り強く要請する



中野 重高

へ搬送。現状把握されて
いるか。

(市長) ①②③山城病院
の運営等に関する事項は、
山城病院組合議会におい
て議論をお願いする。

(質問) 市長は、所信表
明で「木津川市長が山城
病院管理者である。私が
先頭にたつて医師不足の
解消に努め安心できる救
急医療を実現する」と言
われ、①どのような取組
みを、②また3年以上、
現在も整形外科医がおら
れない状況を市長はどの
ように、③市長が言われ
る救急医療体制の考え方
は。現在、救急患者（骨
折、筋肉損傷、腰痛等）
は山城病院に整形外科医
がないので搬送できず、
22年度に救急車要請が5
43件あり、内19件は山
城病院に、残りは他病院

地元反対者の説得を

(質問) クリーンセンタ
ーの早期建設で責任ある
自治体を実現する。①建
設予定地である住民との
話し合いは。②プロジェ
クトチームの体制は、兼
務では無理と思うが、今
後の体制は。③反対者を
説得する方策は。

(副市長) ①鹿背山地区
は、区長・副区長を窓口
に取り組みを説明してい
る。住民全体の説明会は
できてない。区長から毎
月の定例役員会で説明・

報告をお願い。法花寺野
地区は、建設に関する窓
口を設置。建設に伴う地
域課題や環境保全の協議
を予定。②21年度に清掃
センター推進室を設置し
た。兼務をさせない形で、
スピード感をもって業務
を進める。

(市長) ③反対される
方々にクリーンセンター
の必要性を粘り強く説明
する。

学校給食は地産地消で

(質問) ①現在までの経
緯と成果は。②市内産食
材の使用率向上は。③学
校給食における地産地消
を取り組む目的は。

(教育長) ①米飯は、山
城、加茂学校給食センタ
ーで100%地元産を使
用している。木津学校給
食センターは、施設能力

から一部委託して28%の
使用である。②副食の食
材は、25年度末で30%を
達成する。給食で使用で
きる生産量が年間で確保
できるか、検討課題であ

る。③子どもたちに地域
の自然や文化、勤労の大
切さの理解や郷土への愛
着を教える上で教育的に
意義深いことである。



学校給食は地産地消で

幹事

高味 孝之
兔本 尚之
長岡 一夫
西岡 努

Q マニフェストの実効性を問う

A 十分調整をし具体化させる



高味 孝之

(質問) 河井市政2期目のスタートにあたり、マニフェストや所信表明で約束や決意を示された。国政においては、残念ながらマニフェストの実効性に疑問符がつき出しているが、地方が追従してはなりません。地方分権におけるローカルマニフェストとは、首長に与えられた権利であり義務である。なぜなら、首長は予算編成権・執行権・人事権を持ち、補助機関として多数の職員を有する。それらの権限があるから数値目標を示すことができる。

公約とマニフェストの違いは、「数値目標を示すか示さないか」「具体的であるか抽象的であるか」。また、公約で示す政策は、首長の願望と抽象的なスローガンで「目指します」「推進します」「図ります」「充実します」などで、具体的な施策で実現するのか明らかにしません。

一方、マニフェストは政策目標を明確にして、実行手段を明記し、特に個々の政策の実行期限やそれに充てる財源まで明示している。

そこで、政策目標の優先順位・実現手段・実行期限・財源の具体策を聞く。

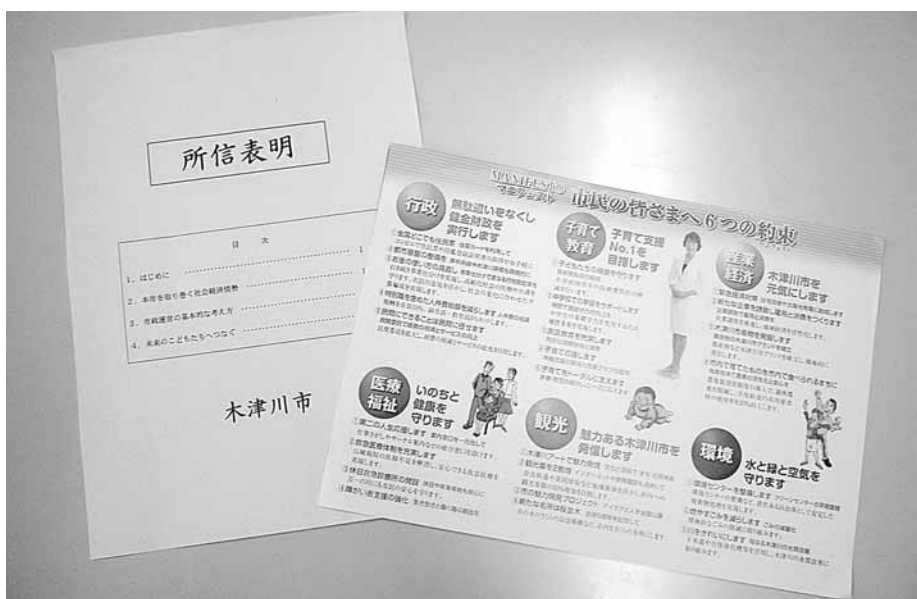
(市長) マニフェストの項目は、実現に向け検討を加え、準備が整ったもの

理解し、教職員の資質能力の向上が大切で、「社会総がかり」で取り組む必要もある。

また、学校の安心・安全、危機管理も重要。

(質問) 今、抱える問題として人口が増加し、若

い人たちもふえ、幼稚園教育を受けさせたいとの希望が増大しているが、公立幼稚園の新設、増設の考えは。



所信表明・マニフェストは数値を入れて

幹事

島野 均
柴田はすみ

Q 被災者支援システムの導入を

A 提案は今後検討する



島野 均

(質問) わが街の防災・地震対策はどうしているのか。

東日本大震災が起こり、防災計画の見直し、防災ガイドブックの作成の進展は。災害に強いまちづくりのために、罹災証明の円滑発行などに効果のある被災者支援システムの導入は。市職員を防災士に。小中学校の耐震化は前倒しできないのか。今年の夏の節電対策に、庁舎、街灯にLEDの検討は。太陽光発電の助成はするのか。そして大震災で転入された児童、生徒に対して心のケアは。

(市長・総務部長) 防災ガイドブックとハザードマップを一つにしたものを作成する。被災者支援システムは、府下で亀岡市だけ導入しており、今後全国的な取り組みの実績等を考え検討する。小中学校16棟は、27年度末までに耐震化を完了する。

市として節電には、率先して取り組み、市民には、積極的に広報、ホームページで啓発に努める。

LED電灯は、照明器具の安定器の交換や、蛍光灯と比べ照度が3分の1になり難しい。LED防犯灯は、低廉化された場合検討する。太陽光発電に関してはマンフェストにあるように補助を考

える。(教育長) 避難されてきた児童・生徒は保護者と

連絡を取り、担任・スクールカウンセラーが中心になり、転入当初より見守り続ける。

(質問) ①子育て支援の強化は

子育て支援の強化は

②待機児童増加の解消策は。③電子黒板の導入は。AED講習を小中学生に実施し「命の大切さ」を教える。④木津川台にある幼稚園はどうなるのか。

(市長) ①24年度より段階的に拡充し、任期中に小学校卒業を対象と考える。

(保健福祉部長) ②20年度、州見台さくら保育園開園。21年度梅美台・さくら保育園を増築。22年度なごみ保育園開園。23年度なごみ・やましろ保育園で150人増員した。今後引き続き待機児童の解消に努める。

(教育部長) ③州見台小学校で、本年度より先導的に導入を予定する。AEDとは何かを児童には教えている。(副市長) ④設置実現へ最大限努力する。



防災対策の充実にむけて (21年防災会議)

幹事 酒井 弘一
西山幸千子

Q 福祉と防災の市をめざせ

A 早期に市の防災会議を開く



酒井 弘一

対象とする。

国保税は中間所得層に重くなっている。その負担軽減は、中長期にわたって考えて行く。

防災計画と職員初動マニュアルを見直すほか、「想定外」を「想定内」にできるような各種施策を講じる。

特に、市民一人ひとりが防災知識を身につけられるよう周知を図る。防災ガイドブックを兼ねたハザードマップを製作する。平常時から「状況把握」「正確な情報収集」ができる情報伝達網を整備する。

福祉のまちをめざし、市長が市民に約束した子ども医療費の助成拡大と中間所得層の国保税負担軽減の具体化を。災害に強いまちづくりの課題は、大震災を受けて本格的に今後どう進めていこうと考えるか。

(市長・総務部長) 子ども医療費の助成は24年度から段階的に拡大し、任期中に小学校卒業までを

ではこれらを拒否してき

たが何が変わったのか。実施にあたってどんな課題があると考えるか。また、具体化のテンポはどうか。

(市長) 今までは実施を考えなかったが、環境問題と大震災の事態を受けて実施に踏み切る。

課題は、使い勝手の良さと、不正の排除と考える。

現在は生活環境部を中心に具体化を検討中。

平和行進へ直接参加を

(質問) 大震災と原発事故があった。あらためて核兵器廃絶と原発への思いを聞く。また、その思いをしっかりと発信せよ。

その意味で、市長は今年こそ国民平和行進へ直接の参加を。



5月に実施された防災パトロール

(市長) 全世界で一刻も早く核兵器の廃絶を願う。平和行進は、これまで原子力の平和利用は安全 同様にメッセージを通して第一で、慎重に探究すべ

自然環境の保全と農業政策は

緩衝地帯の整備や研修会の実施

Q 猿の繁殖による農作物の被害は。過去の猿害対策の成果は。

してもらえるシステムの構築。実施計画は策定なし。

また、農業政策と地産地消の実施計画は。

A 建設部長 被害状況は面積285アール、

奈良県果樹振興センターでは、猿被害防止の講習会や展示コーナーが設けられている。

被害金額519万4千円。誇りを持って農業に従事

を。宇陀市では「サルド

Q 行政主導で研修の実施

「コネクトシステム」利用による位置情報を、利用した追払い体制の拡充・取り組みがされているか。

A 建設部長 今後、勉強していく。観光資源の活用は

Q 古道の整備や観光客を増やす取り組みと、

国民文化祭後の観光施策の考えは。

A 市長 観光施策は市の魅力発信を行う。災害に強いまちづくりは

南加茂台の道路は老朽化している。道路修復計画と優先順位はどうなっているのか。

A 建設部長 アスファルト舗装修繕基準を

基に、順次行っている。



民主改革クラブ
河口 靖子

議会報告会にお越しく下さい

6月議会までの報告と市政の課題について、市民の皆さんとの意見交換会を行います。

お気軽にご参加ください。



昨年の議会報告会（本庁舎）

日時	会場
8月20日(土) 午後7時30分～	州見台小学校 会議室(1階)
	相楽台小学校 会議室(2階)
8月21日(日) 午後1時30分～	市役所 住民活動スペース(1階)
	加茂文化センター 研修室(2階)
	アスピアやましろ 研修室

(各会場2時間程度)



猿害防止へ

市の防災対策を問う

緊急情報の周知に取り組む

Q 災害時の情報寸断は市民の不安である。

A 総務部長 正確な情報が大事。伝達関係を整備対応する。

Q 情報伝達は防災無線での周知が有効である。

情報の拡大、防災塔の設置を望む声があるが、

防災事業に取り組む考えは。

A 総務部長 情報・通信の遮断時は解決に向け取り組む。

Q 自主防災組織と危機管理室の緊急連絡網は整備されているか。

A 総務部長 情報を交換し緊急に備えている。



民主改革クラブ
七条 孝之

る。

Q 学校は災害時地域住民の命を守る砦となるが、避難所としての防災機能はどうか。

A 教育長 防災機能としての学校のあり方を整備する。

市の節電対策を問う

Q 原発事故を受け、節電対策がもとめられているが。

A 生活環境部長 省エネ対策に取り組む関係施設で実施。

Q 市民へのアピールとして「市民節電運動」を展開しては。

A 生活環境部長 アピールについては多くの意見を伺う。



当尾小学校の跡地利用は

住民のために利活用を進めよ

地域の意見を踏まえて

Q 当尾小学校の跡地活用は、対策委員会で協議されているのか。

A 教育長 副市長をトップとする跡地利用委員会、地元の見解を十分に踏まえ、検討を進める。

A 教育部長 設置の目的は、跡地の利活用

および地域振興。

行政部局と教育委員会とが協議検討して、適切な方策の確立をめざす。

教育財産の取り扱いと今後の活用を進める。

Q 湾漂山トンネル開通後、銭司地域の道路・生活環境に問題は。

わんびょうざん
津漂山トンネル開通後、銭司地域の道路・生活環境に問題は。

対策委員会との協議は進んでいるのか。

A 建設部長 以前より車のスピードが速く危険な状況と聞いている。

6月2日、府・市対策委員会と協議を開催し、現状の問題点を確認し道路環境整備に取り組む。

Q 事業の案が府から出されたのか。市の対応はどうか。

A 建設部長 府から「山側・既存・川」道路改良案3ルートが出された。市として早期着手に向け、府に全面的に協力。



片岡 廣



防災行政無線の整備へ（山城町）



大型車の規制を

東西幹線1号線の大型車の規制を

木津警察署に交通取り締まり強化



さくら会
伊藤紀味枝

ている。今後、検討して行く。

木津合同樋門は大丈夫か

Q 大雨の時心配である強制内水排水施設の今後の計画は。

A 建設部長 内水処理計画を元に、具体的な施設設置を国に要望していく。

A 総務部長 ①交通取り締まりやパトロールの強化、看板等の設置は木津署と協議。

建設部長 ②現地確認をし、総合的に勘案のうえ、修繕する。中央線上にコーンの設置は無理で

Q 東西幹線1号線は夜間の大型車両進入禁止区間。夜間通行が横行している。
①市としての対応・予防策は。②老朽化した舗装は騒音や振動の原因に中央のマンホールの上を車が走行して共鳴を起している。③住宅内で速

度制限が40kmと50kmがあり統一を。

住民は不満だ

Q ①真剣に有害鳥獣対策を講じるべきだ。

②図書館の雑誌充実のためオーナー制を導入すべき。③携帯電話アンテナ設置は慎重に。④空き家バンクの活用を。

A 副市長・建設部長・教育部長 ①努力していく。②図書館協議会と協議し進めていきたい。③地元承諾を条件にしている。④個人財産の活用は個人で。

コミュニティバスの充実を
存続できるように考えたい



曾我千代子

A 市長公室長 商店との連携は研究する。今後も、存続できるように考え取り組んでいく。

Q コミバスの運行は、今後ますます必要になる。乗客増に努めて継続運行を図るべきだ。路線の変更や商店街との連携、車内での情報サービスの提供や、高齢者の免許証返納運動などの施策を駆使してもらいたい。

Q 大口径水に課金すべき水道料金の統一化が目前に迫っているのに、私たちの飲み水であ

A 上下水道部長 現在の法律では、法的根拠が無く課金は難しいが、一考したい。

る地下水を、企業が横取りするのを野放しにしていいるのは、おかしいと感じる。課金を検討すべきだ。



乗客増に努めて継続運行を

どう変わる来年度からの支所機能

地域総務課は本庁に統合

Q 支所のあり方は。

A 市長公室長 市民福祉課を残し、職員12人から10人に対応。

Q 住民のサービスは低下しないか。

A 市長公室長 サービス水準の低下を少なくする努力をする。

Q 住民への周知は。

A 市長公室長 広報・ホームページなどを活用。

Q 支所周辺の衰退が起きているのでは。

A 市長公室長 支所周辺の衰退が起きているのは、このころでは。

Q 認識している。

A 市長 認識している。教育方針は

Q 中学校での補習事業の実施は。同志社

A 市長 同志社国際学院との連携は。



民主改革クラブ
炭本 範子

Q 今後、

A 教育部長 今後、検討する。

Q 観光対策は

A 観光協会と連携して魅力再発見は。

Q 観光協会の連携して魅力再発見は。

A 観光協会と連携して魅力再発見は。

Q 観光客数2割増とは。

A 市長 アプリケーションの開発、マスコットキャラクター制作。

Q 観光案内板の設置。サイクリングロードの活用などで20万人増。

A 市長 アプリケーションの開発、マスコットキャラクター制作。

Q 観光案内板の設置。サイクリングロードの活用などで20万人増。

A 市長 アプリケーションの開発、マスコットキャラクター制作。

Q 観光案内板の設置。サイクリングロードの活用などで20万人増。

A 市長 アプリケーションの開発、マスコットキャラクター制作。



支所のあり方は

山城地域の高齢者のゴミ収集は

状況によって、相談に応じる

Q 高齢者のゴミ出しが大変な地域がある。その対応は。

A 生活環境部長 状況に応じて、まち美化推進課で相談に応じる。

Q ブックサービスの拡充を

A セカンドブックサービス事業を行ってはどうか。

Q 高齢者のゴミ出しが大変な地域がある。その対応は。

A 市長 現在は考えていないので、親子で3図書館を大いに利用してほしい。



公明党
柴田はすみ

Q 総務部長 記事スペースがなくて、文字が小さく見にくくなると思われので考えていない。

Q 選挙広報が郵便配達で届いたが、経費がかなりかかったのではなか。

A 総務部長 前回は業者に頼んだが、届か

Q 総務部長 前回は業者に頼んだが、届か

A 総務部長 前回は業者に頼んだが、届か

Q 総務部長 前回は業者に頼んだが、届か

ない所や、遅いなどの苦情があったので、同じ経費の郵便配達にした。

Q 寄贈図書の対応は

A 寄贈図書の取り扱いは、規程はできたのか。

Q 規程はできたのか。

A 教育部長 取り扱いは、基準をどうしていくかまとめていく。

Q 基準をどうしていくかまとめていく。

A 教育部長 取り扱いは、基準をどうしていくかまとめていく。



寄贈図書の取り扱いの検討を



投票意識の向上へ

投票意識と投票率の高い市へ

国民生活と政治の関係は表裏一体



きづがわ未来クラブ
兎本 尚之

Q 投票率や得票率の関係などにも影響を受けるので、一概には言えないが「投票する自由・投票しない自由」という自由権があることを前提として、市民の投票意識や投票率は低いよりも高い方が良いと思うが、投票意識の高い「木津川市」ば、それに伴って、投票

をめぐらしてみよう。また現在、投票に對してどのような取り組みをしているか。

A **市長** 投票行動と政治への関心は、ある意味、表裏一体であり、市民の皆さんが市政への関心をお持ちいただければ、それに伴って、投票

意識が高まっていくものと認識している。

Q 投票率や得票率の関係などにも影響を受けるので、一概には言えないが「投票する自由・投票しない自由」という自由権があることを前提として、市民の投票意識や投票率は低いよりも高い方が良いと思うが、投票意識の高い「木津川市」ば、それに伴って、投票

A **選管事務局長** 近年、選挙の投票率は全体的に低下傾向にある。投票日の周知と、投票の棄権防止を目的とした街頭啓発や、誰もが投票しやすい環境づくりを進めている。

A **教育長** 義務教育の段階でも、「選挙とは、国民や住民の代表者を選出する大切な仕組みであり、選挙権を正しく行使することは大切」と指導し、政治の仕組みを学び、立派な社会人になる基礎を作っていく必要がある。

子どもの医療費無料化の拡充を

来年度から段階的に医療費無料化

Q 子育て支援No.1を実現するために。

- ① 医療費無料化を進めよ。
- ② 学校検診後の治療に補助を。
- ③ 市内の放射線測定情報を積極的に。

対象とは別に親の責任で治療すべき。

A **総務部長** ③府のHPでわかる。放射線測定機器の購入は考えていない。

A **市長・教育長** ①任期中に小学校卒業までを対象にする。②補助

給食費の補助・軽減を

給食費を上げるのか。議会で負担軽減を決



日本共産党
西山幸千子

める仕組みを。災害時に使えるよう新小学校内に自校方式給食設備を。

A **教育長・教育部長** 値上げの答申があり

検討。給食費の補助はない。災害時は給食センターから市内全域に運ぶ。

鳥獣被害の対策強化を

Q 被害防止計画は。狩猟免許取得や柵の補修に補助を。広域捕獲の連携を深め、里山再生を

A **建設部長** 期間を定め計画的に実施。免許取得補助は今後検討。

近隣市町村と効果的な広域捕獲をめざす。森林整備と里山再生に、市民参加も含め積極的に取り組む。

近隣市町村と効果的な広域捕獲をめざす。森林整備と里山再生に、市民参加も含め積極的に取り組む。



放射線測定情報を積極的に

にしどの
西澱樋門・ため池等点検後は

整備をしていかなければならぬ



谷川 光男

Q 自主防災活動の取り組みや防災訓練は。危険が予想される箇所の防災パトロール点検後の対策は。

A 総務部長 広報誌等で防災啓発に努め、地域に合った防災活動を展開。年2回の訓練実施。西澱樋門は、関係機関と協議して進める。

木津高生の通学安全は

Q JR木津駅周辺の整備と、安心・安全で、人に優しい歩道設置はいつ完成なのか。また、木津高生の通学路の歩道設置は。

A 建設部理事 市道335号は、進捗よく率66%で、24年度完成をめざしているが困難。国

道24号の歩道整備は50%。

A 市長 木津高校同窓会・PTA・地元地域等からの強い要望があり、調査費を予算計上。早期に歩道整備等を進める。

地域要望はどうする

Q 地域住民や各種団体等から要望や苦情が

多々あると思うが、その執行状況は。①要望件数は。②未解決の今後の処理は。③緊急性を要する要望対策は。

A 総務部長・建設部長 ①要望件数は、503件。すべて要望者に回答済み。②内容を担当課で検討し、緊急性や必要性等により順次対応している。③緊急に対応が必要な場合には、速やかに現場確認後、措置を実施する。



木津高生の通学時の安全確保を



活力あるまちに

活力のあるまちに

事業者と共に

Q 中心市街地の現状をどのように認識しておられるか。

A 生活環境部長 後継者不足や長引く経済不況などにより、閉店されている商店も増えている。行政としては、問題の把握に努め、事業者の皆さんの主体的な取り組み

みできるだけサポートしていく。

Q 中心市街地の空き店舗対策は。

A 市長・生活環境部長 伝統的な古民家を再利用した店舗など、町並み環境を後世に伝え残すような型の中で考えてい

きたい。

今年、国民文化祭の本番である。観光・文化を通し、商工会と一体となり、おもてなしをした



きづがわ未来クラブ

西岡 努

Q JR木津駅前の土地区画整理事業地・A街

区の利用計画は。

A 建設部理事 民間開発による駐車・駐輪

場の確保が必要と考えている。以前に商工会より提案のあった計画は、当事業にマッチしたものであったが、事業中であり中断していた。計画に合わせ話し合っていく。

A 生活環境部長 商工会で主体的に取り組んでいただきたい。

「清掃センターの整備に関する取り組み」
生活環境影響調査：実施スケジュール（案）

目	平成33年度				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
総合計画の策定	4/1				
	5/16				
	5/17				
	5/16～6/16				
	6/17				
	6/17～6/30				

清掃センターの見通しを明確に

自治基本条例制定のプロセスは

意識調査を実施しその意向に沿う

Q 『まちの憲法』自治基本条例の制定は必要と考える。

- そのプロセスを問う。
- ① 1年間の検討結果は。
 - ② 協議機関の設置と予算化は。
 - ③ 策定着手、条例策定は、いつ頃か。

A 市長・市長公室長
① 研究等の結果を踏

まえ、総合計画の基本計画見直しに合わせ、市民意識調査を実施する。

- ② ③ 意識調査の意向に沿って、今後進めたい。
- 24年4月開園の見通しは

Q 木津川台私立幼稚園問題で、市が近鉄と結んだ協定書の解除特約期限が迫ってきた。そこ

清掃センターの見通しと取組は

計画的な事業進ちよくに努める

Q ① 建設候補地は、かつて焼却場が存在した地区ということでもあり、迷惑施設による被害を受けた方に対する、しっかりとした説明責任と誠意ある対応が必要であるのでは。

② 打越台環境センターの著しい老朽化に伴い、本

年度から補修工事を行うものの、それが何年維持できるのか。

③ 自然災害は、大なり小なりやってくる。災害の要因を始めとする「想定外の対策」については、どのように考えているか。

A 市長・副市長 ① 地域住民に理解いた

くことが大切である。今後一つ一つ丁寧に説明させていただき、進めて行く。

② クリーンセンターの建設は、まさに待ったなしの状況である。

③ 災害に強い施設整備を進めて行く。



きづがわ未来クラブ
長岡 一夫

東西幹線の騒音と振動は行政はいろいろな対策を行ってきた。今後の問題解決に向けた、地元区長との話し合いの場を持つ考えは。

A 総務部長 意見の統一、意思の統一が最も大事。要望があれば、対応して行く。



民主改革クラブ
西岡 政治

で、次の事項をただす。

- ① 22年度の取り組み状況
- ② 24年4月開園の見通し
- ③ 解除特約期限時の対応方針は。
- ④ 協定不履行時の責任は。

月開園に向け精いっぱい努力するのが我々の責任

④ 履行しない者にある。

計画に対する市の考えは

Q リニア中央新幹線整備計画が新聞で報道された。

A 市長・副市長 ① (株)ユニテックス、近鉄に対し、事業者探し、決定を強く要請してきた。

② ③ 現時点では、24年4

公表された整備計画を受け、市の考えは。

A 市長 定住策や企業立地の面など効果が見込まれ、大いに期待している。



リニア計画ルート

職員の給与は労使交渉で決めよ

政府案であり決定していない

Q 行財政改革に聖域を
作ってはならない。
従って、市職員と民間企
業に働く人たちの給与
の格差の縮小は、行財政
改革の本丸であり、聖域
にしてはならない。
政府は、国家公務員の
給与を決める人事院を廃
止し、労使交渉で決める

と閣議決定した。市は人
事院に従い職員の給与を
決めているので、閣議決
定に従うべきだ。

A 市長公室長 給与の
決め方がまだ案の状
況であり、国で決定して
いない。決定すれば従う。



深山 國男

2 割減の利用者への対応

Q きのつバスの運賃を
2 倍の 200 円にし
てから、利用者は 2 割減
り、500 人が 400 人
になったままだ。2 割の
利用者は、高齢者、障が
い者で病院や買い物に行
く回数をやむなく減らし

ている。どう対応するか。
A 市長公室長 公共交
通連携協議会では、
2 割減で維持できている
と評価を頂いている。

Q 利用者が少ない加茂
のコミュニティバス
は、いづれ廃止か。
A 市長公室長 利用者
を増やすことだ。



きのつバス運賃はどうか

安心・安全なまちづくりに向けて

市防災会議、7月に開催

Q 地域防災計画で、被
害の想定はどうなの
か。
東日本大震災により、
この想定の見直しは進ん
でいるのか。
小中学校等公共施設の
避難施設について、耐震
基準の見直しはどうか。

A 総務部長 水害は、
昭和 28 年 9 月洪水時
総雨量の 2 倍約 500 mm
で、震災は最大震度 7 を
想定している。
見直しは、市防災会議
の 7 月開催に向けて早急
な準備を進める。
建築物の耐震基準は、
建築基準法施行令で国の

制定となっていて、見直
される等の情報はない。
子どもたちの未来に向け
河井市政の大きな柱
「子育て支援 No.1 を
目指します」にある、中
学生補習で基礎学力向上
を図る具体的な内容は、
体力や創造力の向上も



さくら会
山本 和延

必要と考えるが。
教育長の教育理念、方
針は。
A 教育長 具体的な補
習の方法について、
検討を進める。
中学生の自立した人間
の成長には、知・徳・体
の調和が大切である。
教職員の資質向上を図
り「社会総がかり」で教
育に取り組みたい。

建築基準法施行令で国の

を



災害対応訓練のようす（7月1日）



上粕地内の水路整備を

上粕地域の都市基盤整備は

下水道整備は早期完了をめざす



さくら会 高岡 伸行

Q 上粕地域の下水道整備計画は。

A 上下水道部長 22年度末整備済面積は、25haで、事業認可区域の48%が完了。

Q 現在の計画を前倒しできないか。

A 上下水道部長 大きな財源が必要となり

財源確保に努め、できるだけ早期の完了をめざす。

西浦川水路の整備

Q 西浦川水路の河川管理は。

A 建設部長 地元において

い状況であるが、大量の土砂等があり河川管理上

支障がある場合、市で浚渫作業を行う。

Q 緊急車両の通行を確保するため、暗渠化

にはできないか。

A 建設部長 河川管理の観点から暗渠化を

することは望ましくなく、路肩注意表示やガードレール設置等の対策により

地に必要な施策は。

A 市長 自動車などの移動手段を持たない

高齢者からは、昔のように近くで買える物ができなくなつたという声も耳に

する。買い物サポートのための施策は、商工会とも連絡し多方面からサポートする。

安全確保を図る。

高齢者も安心できる街に

Q 高齢化と人口減少が進んでいる既存市街

未曾有の事故 原発への思いは

慎重に対応すべき

Q 原発は、政治家一人ひとりが考えるべき課題。

A 市長の思いは。②防災計画の見直しを。③市内に、放射能を扱う施設はあるか。平時時よりの調査を。④祝園弾薬庫の情報と安全性は。

A 市長・総務部長 ①安全を第1に慎重に

対応すべき。②見直す。③ラジオオアイトープを扱う2社がある。確認し、報告する。④情報はない。国に安全管理を要望する。

進化した事業仕分けに

Q 事業仕分け3年目。仕分け定義「第3者機関との共同準備」の実

施を。

外部仕分け人を登用し、効果を高めよ。

A 市長 行財政改革推進委員と相談し、進

過去の質問の検討状況は

Q ①病院建設が断念された土地の現状と今後

②中途障がい者1級の方



呉羽 真弓

への紙おむつ支給は。

③東部交流会館、南加茂台公民館のホール冷暖房費の見直し結果は。

A 建設部理事・保健福祉部長・教育部長

①本年10月が特約の期限。URで検討中。今年中に高さ規制を設定する。

②府内の状況を踏まえ、検討する。

③指摘も踏まえ、社会教育委員会で検討する。



協定が結ばれている研究所

わたしの意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(220字以内)



森川 三佳さん
(山城町平尾)

「役」の役割

私達の暮らしの中には様々な役があります。身近な所では隣組長さんや地域役員さん。何かに属していればその会の役。また、私には三人の子どもがおりますので今までに保育所や

小・中学校で本部役員やクラス委員、地域子ども役員等をさせて頂きました。役には順番で回ってくるもの、選出されるもの等色々ありますがそれぞれに必要な役割があり、役をする度に思うのが、今まで誰かがこの役をされてきたんだな。私も頑張つてしなくてはいけないと思います。市議の皆様は立候補されての事。市のためにご尽力頂きたく思います。

お知らせ

9月定例会は9月1日(木)からはじまります。

編集後記

市が誕生して5年目を迎えます。統一地方選挙後、私たち議会も新しいメンバーでスタートしました。

今回の「議会だより」は、5月の臨時会と6月定例会を中心に新広報委員で、編集しました。これからも公平公正を基本に、次の号が待ち遠しくなる「読みたくなる広報」をめざして取り組みます。

あとになりましたが、東日本の一日も早い復旧、復興をお祈りします。

「がんばろう日本」

「がんばろうみんな」

高味 孝之



清水 英男さん
(南加茂台)

心がふるえた メッセージ

東日本大震災が起きた翌日の3月12日、二月堂お松明上堂の折、東大寺北河原管長から参拝者に三つのお願いの呼びかけがありました。一つは被災され亡くな

られた方のご冥福を祈っていただきたい。二つは困難な状況におられる方と共に苦しみを感じましょう。三つは復興のためにそれぞれの立場で、持っている力を尽くして下さい。というもので、当日参拝された方から「余音(よいずみ)々々として心がふるえるほどの感銘を受けました」と申しておりました。東日本大震災の復興を心からお祈りいたし、このお話を紹介します。



高橋 實さん
(州見台)

市のウォーキング ロードの設定を

木津川市も年々高齢者が増え、メタボ族の健康管理の指導手法として、市内の5つの台のつく地区と主地区に幾つかの歩く運動コースの設定が必要と思います。

市で具体的な指導要綱を作成して頂き、地域ごとに幾つかのコース・距離・時間の指標を基に、高齢者を初め互いに声をかけ、誘いあって楽しく歩けるのでは。高齢者が家にこもらず外出し、勇気を出し頑張る気持ちが出し、体管理も順調に進めることになるのでは。ただ運動をすれば良いのではなく、具体的なマップによる脂肪燃焼の必要があるのではないのでしょうか。

広報編集委員会

- 委員長 高味 孝之
- 副委員長 呉 羽真
- 委員 高岡 伸行
- 〃 河口 靖子
- 〃 河本 尚之
- 〃 柴田 はずみ
- 〃 西山 幸千子
- 〃 片岡 廣